

新しい命を大切に育てていく

●●● 10.4



御前崎小学校でアカウミガメの受入式が開かれ、子ガメ20匹が市ウミガメ保護監視員から4、5年生に引き渡されました。

いもじいさんの遺徳偲び法要

●●● 10.12



甘藷翁こと、故大澤権右衛門の遺徳を偲ぶ祥月忌法要が、御前崎地区の海福寺で営まれ、関係者約30人が参列しました。

みんなの病院を身近に感じて

●●● 10.22



市立御前崎総合病院で「第3回病院祭」が開かれ、参加者は院内体験などを通じ、病院職員らと触れ合いました。

親子で災害時の備え学んだよ

●●● 10.22



浜岡東小学校の3年生73人とその保護者が、AEDの使用方法や応急手当の仕方を、消防署職員から学びました。

オーナーが御前崎の秋を収穫

●●● 10.16



高松地区で、七ツ山砂地観光農園の収穫祭が開かれ、同園のオーナー約1,000人が、サツマイモなどを掘り起こしました。

被災地での教訓を生かす

派遣職員の活動報告会

●●● 10.21

東日本大震災の被災地へ派遣された市職員8人の活動報告会が10月21日、原子力広報研修センターで開かれ、大勢の職員が被災地の現状や行政に求められる役割を学びました。

参加した職員からは「大規模災害時は、行政が思うように機能しない。災害時の混乱に対処するためには、災害対策本部のレベルアップが必要不可欠だと感じた。職員一人一人の危機意識も高める必要がある」といった声が聞かれました。

▼大勢の職員が参加し、熱心に聴き入った



宝くじ社会貢献広報事業

宝くじ活用し地域に力を

●●● 10.8

財自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動備品の整備などに助成金を出しています。この事業は、宝くじの収益金の一部を活用し、地域社会の発展と住民福祉の向上に寄与しています。

今年度は、朝比奈原、上岬区、広沢区、薄原区の各町内会が太鼓や雨用シート、万度幔幕などのお祭り用品を整備。10月に実施された地区祭典で使用され、コミュニティの活性化に役立てられました。

▼整備された各町内会の祭典用品

